

Einstein's Loves and his Encounters

アインシュタイン LOVE

「直感」と「思考」の間で、
アインシュタインは日本に夢中になった。



「アインシュタインLOVE」展 in 東北大学

テーマ／日本を愛し子供たちを愛した、アインシュタインが遺したもの。

と き／2009年10月19日(月)～11月2日(月)最終日はPM3:00まで

ところ／〈東北大学〉川内萩ホール | 入場無料 |

◎主催／東北大学 ◎共催／エルサレムヘブライ大学 アインシュタインLOVE日本実行委員会

◎後援／宮城県教育委員会 仙台市教育委員会 イスラエル大使館

◎協賛／(株)菓匠三全 (株)コロナ シダックス(株) ◎特別協力／高速美術印刷(株)

<http://www.einsteinlove.jp/>



東北大学

企 | 画 | 展 |

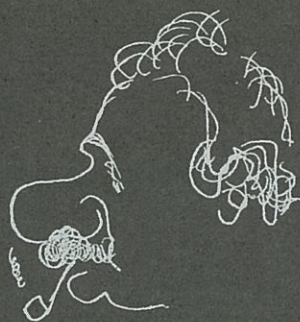
Einstein's Loves and his Encounters

アインシュタイン LOVE

この展覧会は、「アインシュタインLOVE」をメインテーマに、広く深い愛の心を宿したアインシュタインの今日的意義を問い直すことをねらいとしました。とりわけ、彼の目を通した「美しい日本」の再確認、また世界平和運動への歩みは、今を生きる人々の心にも多くのことを語りかけてきます。

あなたの好きなアインシュタインに きっと出会えます。

展示コンセプトは「一人ひとりのアインシュタイン」。それぞれが自分なりに興味を持ったアインシュタイン、好きなアインシュタイン像を確かめられるような構成を心がけました。きっと、子どもたちも、大人も、アインシュタインの心に、声に、言葉にふれて、その偉大な天才・アインシュタインワールドに魅了されるでしょう。



MEMO アインシュタインと東北大学

1922年(大正11)11月、アインシュタインは「改造社」の招きで日本を訪れました。各地で講演旅行を続け、翌月の12月に東北大学を訪問しています。アインシュタインと東北大学とはゆかりがあり、この訪問の前に初代総長・沢柳政太郎が彼を教師として招聘する計画もあったのです。それだけに、ここ東北大学でアインシュタイン展を開催することは、非常に意義深いことです。

■展示プロフィール

ベクトル



Einstein's Japan

アインシュタインの見た「ニッポン」

1922年(大正11)日本訪問の折、並みはずれた眼識力と洞察力によって、日本を観察したアインシュタイン。土井晩翠、本多光太郎をはじめ当時の知識人との交流、各地のエピソードなど、彼の眼に映じた日本を展覧します。



「幸福で美しい国、そして繊細で感受性の強い人々。」 by Einstein

ベクトル



Einstein's Life

ありのままのアインシュタイン

恋多き青年、発明家、音楽家、子どもたちに愛された天才——意外で魅力たっぷりなアインシュタインの素顔、生活ぶりを楽しんでアピール。貴重な肉声を通したメッセージは、多くの人の心をゆさぶるでしょう。



ベクトル



Einstein's Worldview

世界観を変えた革命児

時間・空間の常識を破った科学者、そして世界市民、平和主義者として世界政府を提唱したアインシュタインの精神を跡づけます。「相対性理論」に関する肉筆草稿、ノーベル物理学賞メダル、ガンジーやゴダールなどの手紙を展示します。

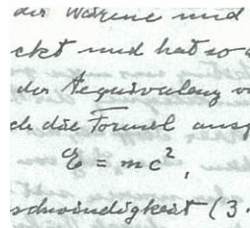


「科学と芸術は、平和への唯一の使者である。」 by Einstein

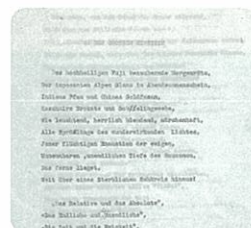
◎展示品



ノーベル物理学賞メダル



「相対性理論」肉筆原稿



土井晩翠からアインシュタインへ贈った詩



ベティ・ノイマンへの恋文



日本の子供たちが贈った絵



アインシュタインの肉声テープ